

# 「軽く感じる」新構造リップキーパー

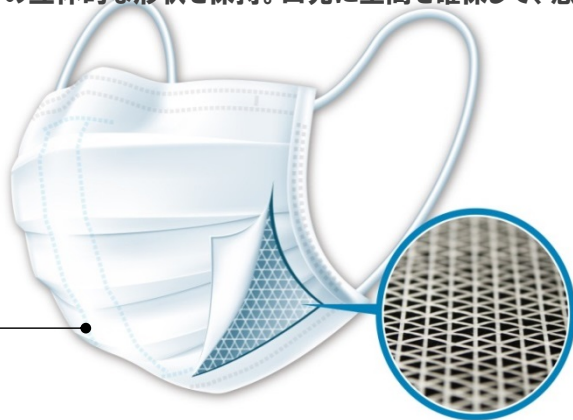
より快適にお使いいただけるよう、形状や素材も大幅に改良。

着けていることを忘れてしまうほどの、これまでにない“着けごち”を実現しました。

マスクの息苦しさや口元への接触を緩和!!

## 3Dプリーツ形状記憶構造

通気性と形状記憶性を兼ね備えた新素材「リップキーパー」と独自のプリーツ構造により、マスクを広げたときの立体的な形状を保持。口元に空間を確保して、息苦しさを緩和します。



### スーパーソニックウェーブ加工

登録意匠第1413423号・1413424号・1422992号  
／登録新案第3163625号



### 新素材リップキーパー

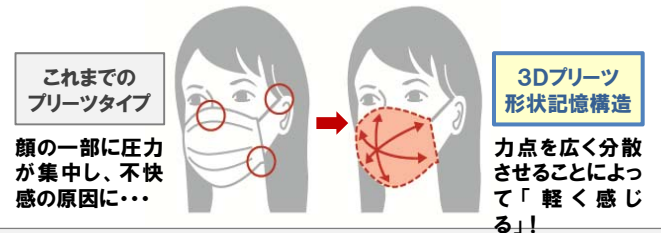
**[3軸形状記憶フィルター]**  
通気性と空間記憶性を兼ね備えたこれまでにない発想の画期的な素材。

## 私たちが追求した“着けごち”とは・・・

家庭用マスクのおよそ80%は、不織布を折り重ねることで開いたときにふくらみをもたせる「プリーツタイプマスク」ですが、これには「息苦しい／口元がベタつく／会話がしにくい／耳が痛い／化粧が崩れる」・・・などといった装用時の不快感が付きものでした。

私たちは、このような消費者の不満を解決すべく、マスクを日常的に装用する医療現場においてモニタリングを積み重ねました。その結果、マスク本体の重量がわずかに増したとしても、耳や鼻、顎、頬など部分的に集中する圧迫感をマスク全体に分散し、着けた時に「軽く感じる」ことができれば、不快感は激減することがわかりました。

## 口元空間の確保と圧力の分散により「軽く感じる」という感覚



今回開発した「新素材リップキーパー」による独自の3Dプリーツ形状記憶構造は、口元の空間をしっかりと確保するとともに、力点を広く分散させることによって生じる「軽く感じる」という感覚を重視。マスクを着けていることを忘れてしまうような快適な装用感を実現しました。

# 【実証データ】リップキーパーに関する加圧実験結果

## 実験概要

実施目的: 市販の代表的なマスク3種と新素材リップキーパーを内蔵したピンクリボンマスクにおける口元空間の保持性の比較・検証

実施期間: 2012年11月15日

実施機関: 福岡県工業技術センター／化学繊維研究所

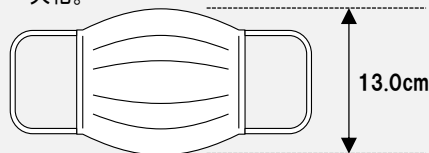
実験機器: 株式会社島津アクセス製万能試験機 (型番: AUTOGRPH AG-X 5kN)



単位: N=ニュートン

## 実験手法

- ① プリーツを開き、マスク中心部の縦長を13.0cm、高さを5.5cmに一定させて空間を最大化。



- ② マスク上部から速度30mm/minで加圧し、圧力板のマスク接触よりマスク高さの10%～30%までのストロークの反発力を比較。



	5%	10%	15%	20%	25%	30%
U社製品	0.0163	0.0248	0.0354	0.0418	0.0451	0.0512
K社製品	0.0155	0.0202	0.0262	0.0312	0.0388	0.0496
H社製品	0.0136	0.0163	0.0175	0.0198	0.0247	0.0290
ピンクリボンマスク	0.0233	0.0351	0.0463	0.0565	0.0684	0.0809

